

取 組 方 針

株式会社コシノは、中食産業・外食産業・産業給食・公共施設（学校、病院等）・公共機関などに向けた総合食品の販売及び製造を行っております。「食の安全安心」が叫ばれる中、消費者の期待に沿う良質で安心安全な食材の供給を使命として事業活動を行っております。

今般、弊社の事業活動を進めていく中で、環境保全が重要課題のひとつである事を認識し、地球環境との調和と地域社会との融合を図りながら、進歩発展していく事を目的にしていきます。このためなら私たちは、事業活動に伴う環境への負担を少なくする為に、以下の取組みを社員一丸となって推進します。

- ① 省エネルギーに努め、地球温暖化防止に努めます。
- ② 廃棄物の削減に努めます。
- ③ 紙使用量の削減に努めます。
- ④ 環境に配慮したOA機器及び事務用品の使用・普及
- ⑤ 節電及び節水に努め、地域貢献を推進します。

この方針に従って、全ての社員が高い環境意識を持ち、環境に配慮した行動ができるように牽引的な社内組織として「KFプロジェクト」が継続して中心となり、活動促進・データの検証・環境教育を実施します。

平成30年9月21日

株式会社コシノ

代表取締役社長 越野 英司

■ 環境負荷低減の取組

当社では、事業活動に伴う環境負荷を低減するための取組目標を掲げ、目標を達成するための具体的な取組を設定して取り組むこととしています。設定した取組目標と具体的な取組項目は、次の通りです。

目標—1	二酸化炭素の総排出量（売上高当たり）、H29年を基準としてR3年までに280kg-CO ₂ /百万円に削減する
具体的な取組	<p>（事業所または工場・施設での取組）</p> <ul style="list-style-type: none">① 空調を必要な区域・時間に限定する② 昼休みの一斉消灯、人のいない区域の消灯を徹底する③ 電球型蛍光灯、インバーター照明などを導入し、照明器具の省エネ化を進める④ 空調機や照明器具などの点検・整備を定期的に行う⑤ OA機器の節電機能を活用する <p>（車両の使用に関する取組）</p> <ul style="list-style-type: none">① エコドライブの推進体制を作り、組織的に取り組む② 車両の点検・整備と燃費の確認を定期的に行う③ ハイブリッド車や低燃費車、低公害車の導入を進める④ エコドライブの啓蒙⑤ 60キロ低地走行の定着、高速道路の消極的利用

目標一2	一般廃棄物の排出量（売上高当たり）を、H29 年を基準としてR3 年までに 25Kg/百万円に削減する
具体的な取組	<p>（事業所または工場・施設での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 詰め替え可能な製品を優先的に購入・使用する ② 再利用・リサイクルしやすい製品を優先的に購入・使用する ③ 排出する廃棄物の区分を徹底する ④ シュレッダーの使用を機密文書に限る ⑤ 産業廃棄物を分別・回収・リサイクルするための設備を設置する ⑥ 産業廃棄物の適正な処理を確認する ⑦ マイ箸を携帯する ⑧ いかなるゴミも少なくする

目標一3	コピー用紙の使用量（売上高当たり）を、H29 年を基準としてR3 年までに 0.8Kg/百万円に削減する
具体的な取組	<p>（事業所または工場・施設での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 会議用資料などの簡素化を徹底する ② 両面コピーと裏紙利用を徹底する ③ 電子情報機器の利用により、ペーパーレス化を進める ④ 事業活動や催し物の案内チラシや資料は、適正な部数を作成・配布する

<p>目標一4</p>	<p>環境に配慮したOA機器・事務用品の使用・普及と地域社会への貢献活動を推進する</p>
<p>具体的な取組</p>	<p>(事業所または工場・施設での取組)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 文具類などはエコマーク製品、グリーンマーク製品を優先的に購入する ② コピー機・パソコンなどは省エネルギーのものを選ぶ ③ 石川県リサイクル認定製品に認定された製品を優先的に使用する ④ 作業服・スタッフジャンパーなどは、リサイクル製品を注文する ⑤ クールビズの普及 <p>(節水)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 洗車する時は、水を流しっぱなしにしないようにする ② 生産工程での水利用について、効率的な利用に取り組む ③ 積極的な節水、節電活動を行う（セコロジー） ④ 水道配管からの漏水を定期的に点検する <p>(貢献活動)</p> <ul style="list-style-type: none"> ① エコ活動の管理体制を確立する ② 地域清掃や道路清掃などのボランティア活動に参加・協力する ③ 敷地内・壁面・屋上等の緑化を行う ④ 学校や公民館、団体等からの環境保全に関する要請に対して協力する ⑤ 従業員に「いしかわ家庭版環境ISO」への取組を進める

目標一5	産業廃棄物の排出量（売上高当たり）、H29 年を基準としてR3 年までに3.2Kg/百万円に削減する
具体的な取組	<p>（事業所または工場・施設での取組）</p> <ul style="list-style-type: none"> ① いかなるゴミも少なくする ② 産業廃棄物の分別を徹底する ③ ストレッチフィルムなど、梱包資材の使用を必要最小限にする ④ プラスチック製品の使用を控え、再利用可能素材の製品に切り替える ⑤ プラスチック素材のパレットの使用を控え、破損等による廃棄を削減する ⑥ 仕入れ先に対し、過剰な梱包を控えるように指導する

■ 環境行動計画の実施体制

この環境行動計画にそって環境保全活動を推進するために、専務取締役を委員長（環境管理責任者）とする「KFプロジェクト」（環境推進のための委員会）を継続し、全従業員が「具体的な取組」を実行します。

今後ともKFプロジェクトでまとめたデータをもとにして進捗を確認し、全社員にフィードバックしながら目標達成をできるよう行動していきます。

日常的には、KFプロジェクトから各エリアグループに担当活動を行ってもらい、定期的にそれらを検証し支援策及び活動内容の確認をし、必要ならば見直しを図り更に効果的な実行をまいります。